

○ Dr. Gilbert M. Shimmel

所 属 : Dept. Public Health, California University

年月日 : 1961年 6月26日

用 務 : アジアにおける人口傾向と人口政策に関する研究

連絡機関 : 国立公衆衛生院

○ 鄭 順 腾 (Chung, Soon Eung)

所 属 : 韓国参議院運営委員長, 韓国統計協会会長, 韓国人口問題研究所理事長, 京城

年月日 : 1961年 6月28日

用 務 : 日本における人口問題に関する調査研究の調査

連絡機関 : The Population Council, New York.

(調査部資料科)

第13回日本人口学会の開催

第13回日本人口学会は、昭和36年4月20, 21の両日東京、明治大学において開催された。研究発表会およびシンポジウムにおいて行なわれた報告ならびに報告者をしるすとつぎのごとくである。

第1日 (4月20日)

○研究発表

- (1) わが国における出生の届出済の推移について……………人口問題研究所 上田正夫
厚生省統計調査部 上田耕三
" 丸山てるみ
- (2) 家族循環と家計における教育費負担に関する1
考察……………お茶の水女子大学 伊藤秋子
- (3) 寛永10年(1633年)肥後藩人畜改帳による人口
構成および家族構造の分析……………人口問題研究所 皆川勇一
- (4) 府県別にみた世帯構造変動の分析
—人口移動との関連において—……………人口問題研究所 小林和正
- (5) J. J. スペングラー「厚生経済学と過剰人口の
問題」の紹介……………中央大学 南亮三郎
" 大淵寛
- (6) 人口増加の経済分析
—仮設的法則としてのマルサスの命題と
その実証の試み……………一橋大学 南亮進
- (7) 就業構造の産業連関分析……………人口問題研究所 岡崎陽一
- (8) わが国における人工妊娠中絶調査の概要……………国立公衆衛生院 木村正文

○シンポジウム「“人口学”への接近」座長 南亮三郎

- (1) 経済学の立場から……………南亮進
- (2) 人口統計学の立場から……………上田正夫
- (3) 社会学の立場から……………関東学院大学 富田富士雄

第2日（4月21日）

○研究発表

- (9) わが国人口移動の potential と実際人口移動と
の関係 人口問題研究所 舘 稔
" 小山美紗子
- (10) 大都市地域における人口の構造に関する1研究——東京都を中心とする大都市地域における
人口密度と人口増加 人口問題研究所 舘 稔
" 上田正夫
" 浜英彦
法政大学 鈴木啓祐
人口問題研究所 天津るり子
- (11) 水産資源の再生産力について 東京水産大学 吉原友吉
- (12) 大正9年乃至昭和30年に於ける高令人口の動向 久留米大学 安倍弘毅
" 矢野邦夫
- (13) 本邦配偶別死亡率 東京女子医科大学 諸岡妙子
- (14) 死亡構造の1分析 人口問題研究所 黒田俊夫
" 荻野嶋子
- (15) 本邦における老衰死亡の趨勢 東京女子医科大学 吉岡博人
- (16) 本邦死亡研究の動向について 国立公衆衛生院 曾田長宗

○シンポジウム「人口都市集中をめぐる諸問題」 座長 慶應義塾大学 奥井復太郎

- (1) 公衆衛生の立場から 関西医科大学 東田敏夫
(2) 経済学の立場から 中央大学 金田昌司
(3) 社会学の立場から 人口問題研究所 河野稠果
(4) 人口統計の立場から 黒田俊夫
(5) 農業経済学の立場から 農業総合研究所 畑井義隆

(調査部資料科)